

建設産業

一の浦～橋本線道路改良工事5,000万円



道路整備が進む一の浦～橋本線

土木工事を施工

本路線は、須恵パーキングエリア・スマートインターチェンジの上り線アクセス道路整備として昨年度より取りかかり、二カ年計画の最終年度になります。

五メートルで、主な工事については、擁壁工事、排水工事、舗装工事、交通安全施設等を予定しています。



道路改良が進む内原～大谷線

内原～大谷線2工区道路改良受託事業



アクセス道路が改良されるクリーンパークわかすぎ

本路線は、ごみ処理施設クリーンパークわかすぎのアクセス道路としまして、歩行者の安全及び交通の円滑を図るものです。

平成十四年から七カ年の継続事業で、平成二十年の完成を計画しています。

工事量は、工事長一八九メートル、主な工事については、排水工、擁壁工、舗装工、交通安全施設等を予定しています。

事業費は、一億二千五百万円、財源内訳は、受託事業収入です。

総務文教

心肺停止状態の急患者に迅速に対応

町施設に自動体外式除細動器を設置

自動体外式除細動器（AED）は、心肺停止状態の急患者に電気ショックを与え、心臓の正常な働きを回復させる装置で、医師などの資格がない一般人でも使用できるのが特徴です。

町庁舎には、自動体外式除細動器を昨年十一月から置いていますが、本年度は福岡県自治振興組合の事業の一環として公共施設に無償配布されることになり、本町ではすべての小・中学校、アザレアホール、ボランティアセンター、社会福祉センター、若杉の森運動公園、歴史民族資料館、美術センター久我記念館に一台ずつ合計十一台が、機器取り扱いの職員講習が終わった施設から順に

配布される予定となっております。心肺停止状態の急患者に迅速に対応できる体制が整備されます。



自動体外式除細動器（AED）

環境教育の提案

地球の環境悪化が問題になり、京都議定書が発令され、二酸化炭素削減が身近なものになってきました。

須恵町教育委員会では、学校教育の中で身近なところから環境教育・地球温暖化防止等々を意識する必要性を高めるため、エネルギーの大切さを教えるシンドル的な環境エネルギー教育の教材として、太陽光と風力という自然の恵みをエネルギーに変えるハイブリッド発電機を、立地条件を活かし「須恵東中学校」に設置し、生徒の環境教育の

充実に役立てるとともに、夜間照明灯を設置し防犯に役立てるため、風力発電整備助成事業の申込を行っています。

しかし、今回の特別枠は九州グリーン基金の百パーセントに近い補助事業のため、九州の各中学校関係・社会福祉法人・NPO等々の申込が殺到し、受理されるかは未定ですが、発電助成事業が続く限り検討してもらおうよう申し入れしました。



ハイブリッド発電機